都立国際高校 年間授業計画/Tokyo Metropolitan Kokusai High School Course Syllabus

〇 科目基礎情報 (Course information)

開講年度	(Academic year)	令和7年度(2025 年度)
開講学科	(Department)	国際学科/Course of International Studies
教科	(Subject Area)	家庭
科目	(Subject)	家庭総合
担当者	(Subject Teacher)	伊東純子·宮川麻衣子·大竹典子
学年・クラス	(Grade · Class)	2年A~F組
単位数	(Number of units)	3
使用教科書	(Text Books)	家庭総合(自立·共生·創造) 東京書籍/生活学NAVI 2023 実教出版
校外学習	(Field trip)	なし

〇 教科の目標 (Goals of the subject area)【知 謙 及 び 技 能 】 (Knowledge and Skills)人の一生と家族・家庭及び保育・福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付ける。

【思味る技能を好に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】(Ability to think, make judgements, express themselves) 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理 的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】(Motivation to learn, Humanity) 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的 な態度を養う。

○ 科目の目標 (Goals of the subject)

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
(Knowledge and Skills)	(Ability to think, make judgements, express themselves)	(Motivation to learn, Humanity)
き方があることを理解し、自立した生活を営むために必要な情報の収集・整理を行い、生涯を見通して、生活課題に対応し意	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現する力を身に付ける。	涯の生活設計について、課題の解決に主体的に取り組んだ

0)授業計画(Course schedule) All h							
	単元の具体的な指導目標 Unit Objectives	指導項目・内容 Topic / Contents	評価規準 Evaluation Criteria	知 ①	思	態	配当時数	
ester)	単元名を記載 家庭科の学び方 第8章 住生活をつくる 【知識・技能】 ・防災などの安全や環境に配慮した 住居の機能について理解する。 ・適切な住居の計画・管理に必要な 技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】	・指導事項 ・持続可能な社会を目指して主体的 に行動できるよう、安全で安心な生 活と消費について問題を見いだし、 課題を設定し、解決策を構起し、皮を 機を評価で改善し、考象したことな として課題を解決する力を身に付き ・教材 教科書・生活学NAVI・プリント	● 【知識・技能】 ・防災などの安全や環境に配慮した住居の機能 について理解したか。 ・適切な住居の計画・管理に必要な技能を身に 付けたか。 ② 【思考・判断・表現】 ・住居の機能性や快適性について問題を見いだ して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評 価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論 理的に表現するなどして課題を解決する力を身 に付けたか。 ③ 【主体的に学習に取り組む態度】	0	0	0	24	
	・住居の機能性や快適性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構起し、実践整評価が必要能し、考験したことを根拠に基づいで論理もの力を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】・様々なに向けて、出版制をはいて、別組が関いて、自然では、別組がした。ともに、自然の解決ってといて、地域社会に参画したあり、社会で家庭、地域の生活ので、地域社会に参画した。ともに、自図るために実践できる。	授業の資料の配信・課題の回収・住 居設計図の製作など	・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、住生活と健康について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしているか。					
sem	定期考査 Examination			0	0			
1学期 (1st	単元名を記載 第7章 衣生活をつくる 【知識・技能】 ・ライフステージや目的に応じた被服の機能と着装について理解する。 ・被服材料,被服構成,被服衛生について理解する。	・指導事項 ・被服の機能性や快適性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理を解決する力を身に付けさせる。 ・数材 教科書・生活学NAVI・プリント	● 【知識・技能】 ・ライフステージや目的に応じた被服の機能と・被服材料,被服構成,被服衛生について理解したか。 ● 【思考・判断・表現】 ・被服の機能性や快適性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理がに表現するなどして課題を解決する力を身					
	【思考・判断・表現】 ・被服の機能性や快適性について問題を見いだして課題を設定し、解決 考察したことを保拠に基づいを解決することができる。 【主体的に受習に願し、よ活と健康に のの構築、課題の解決に立きといいて、 は、な主体的に表現するなどして課題を解決することができる。 【主体的に学習に願し、よ活と健康に の解集、課題の解決に定きといいて、 は、は、な主体的にりして、地域とに参して、地域、自分や家庭、地域の生活の とともに、は、	・一人1台端末の活用 等 授業の資料の配信・課題の回収など	はいけたが、。 ●【主体的に学習に取り組む態度】・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、衣生活と健康について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしているか。	0	0	0	24	
	充実向上を図るために実践できる。 定期考査 Examination			0	0			

	単元の具体的な指導目標 Unit Objectives	指導項目・内容 Topic / Contents	評価規準 Evaluation Criteria	知 ①	思 2	態 3	配当 時数
	単元名を記載 第9章 経済性活を営む 【知識・技能】 「知識・技能】 「独議・技能】 「独議・技能】 「連合」 「連合」 「連合」 「主意」 「主意」 「主意」 「主意」 「主意」 「主意」 「主意」 「主意	・指揮事項 ・生涯を見通した生活における経済随の管理や計画の重要性について課題を設定なら、解決すると表し、実践と評価・改善などし、実践と評価・改善などしてままがでは、ままが、まれまが、まれまが、まれまが、まれまが、まれまが、まれまが、まれまが	●【知識・技能】 ・消費者の輸における意思決定について理解して行動できるよで ・消費者の動における意思決定について理解して ・消費者の動における意思決定について理解して ・過いとして、生活情報を活用し、いて ・適い問題を見いだして、生活情報を活とに策能を ・適い問題を見いだして、実践で、解決でをを根を を実践でを評価・改善表し、考るなどと、課題を ・選し、実践で計画にし、考るながとして、 ・選し、というというでは、 ・選し、というに関係し、 ・様なな人々と協働し、よりよい画に、 ・様なな人生活におけてあり。 ・様なな人生活におけに取り、 ・がして、 ・がし、 ・がして、 ・といいるか。 ・といいるか。 ・といいるか。 ・さいるが、 ・さいが、 ・さいが、 ・さいが、 ・さいが、 ・さいが、 ・さいが、 ・さいが、 ・さいが、 ・さいが、 ・さいが、 ・さいが、 ・さいが、 ・がしが、	0	0	0	27
ester)	帯したりして、生活を工夫し創造 し、実践できる。 定期考査	NO We observe that the					
2nd sem	EM写貨 Examination 単元名を記載	授業内で実施 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	 ●【知識・技能】				1
2学期(第2章 人生をつくる 【知識・技能】 ・家族・家庭生活を取り巻く社会る。 ・家族・家庭整性活を取り巻けなる。・家族・家庭生活を取りで理解わりについて関わりについて関かりについて実践を作るとして、家族を家で選邦を深めている。 【思考な人の報告をいいでは、家庭を見構した。 ・家は、本人の新聞集をいいがした。 、家庭を見構した。 、家庭を見ばした。 、家庭を見ばした。 、家庭を見ばした。 、家庭をいた。 、家庭を見ばした。 、家庭をいた。 、家庭をいた。 、家庭として、まるは、また。 、また。 、また。 、また。 、また。 、また。 、また。 、また。	・家庭や地域のよりまい生活を創造するために、自己の意動することについて財政をもって行動で課題を設定しいでして、となって間題である。 大田	・家族・家庭生活を取り巻く社会環境の変化や課題にかた。 ・家族・家庭と社会との関わりについて理解したか。 ・家族・家庭と社会との関わりについて理解したか。 ②【思考・判断・表現】 ・様々な人が協力して、家族の一員としての役間題を果たし家庭を築くことし、解決策を構想し、実践を評価でいたことを標地をし、実践を評価性的に表づいるか。 ③【主体的にで習に取り組む態度】・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に、当ないな、との構築に、は上述のいて、課題が当に、は一次で、生涯の出れだり、よりないさい。 ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に、自分や家庭、地域の生活の充てするとともに、自分や家庭、地域の生活の充な。	0	0	0	27
3学期 (3rd semester)	単元名を記載 第3章子どもと共に育つ 【知識、技能】 ・乳幼児期の心身の発達と生活について現解する。 【思考・判断・表現] ・表現子のために親初の ・表族及びについてのないでは、現代の ・表族及びについてのでは、現代の ・表族及びについてのでは、現代の ・表族及びについてのでは、現代の ・表族及びについてのでは、現代の ・表族をでは、現代の ・表に変し、できいでは、ままないでは、 、表では、ままないでは、 、表では、ままないでは、 、表では、まないでは、 、 、まないでは、 、まないでは、 、まないでは、 、まないでは、 、まないでは、 、まないでは、 、まないでは、 、まないでは、 、まないでは、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	・指導事項 ・家庭や地域のよりよい生活を創造するために、自己の意思決定に基づき、責任をしたもって行して実施を記念定とに定して行いて解決を提出を設定した。 大きを見いて開発を構想しことなどを表し、表して高いて動きが表別に表現に付けさせる。 ・教材・生活学NAVI・オリジナルワークシート ・一人1台端末の活用 等 授業の資料の配信・課題の回収など	●【知識・技能】 ・乳幼児期の心身の発達と生活について理解したか。 ②【思考・判断・表現】 ・子供の健やかな発達のために親や家族及び地を見いだして課題を別でいる情想し、解決でも構想に基づったことを根拠に基づいて論理的に表現するか。 ③【主体的に学習に取り組む態度】・様々な人々と協働し、保育について、理題を解決するが、とりよい社会の構築に向けて、そ供の生活と保育について、で改善ととのというに取り組んだり、長りとするととして、地域とは、歯分や家庭・地域とに咳の生いるか。	0	0	0	37
	定期考査	授業内で実施					1
		授業内で実施					1